

ウガンダ月報(2018年2月)

主な出来事

【内政】

- 難民支援に係る不正疑惑

【外政】

- 米国の南スーダンに対する武器禁輸措置
- コンゴ(民)からの難民の流入
- ムセベニ大統領とマグフリ・タンザニア大統領との会談
- 東アフリカ共同体(EAC)首脳会議の開催

【経済】

- アメリカ企業による石油精製所建設の受注
- 政府機関による日系企業との契約不更新
- ムセベニ大統領の Liao Shen 工業団地訪問
- 中国企業によるスマートフォン工場建設
- 政策金利の引下げ
- ケニア国境におけるワン・ストップ・ボーダー・ポストの開設

【内政】

- エチュウエル救援・防災・難民担当国務大臣は、UNHCR及び国連常駐調整官から難民支援に係る複数の不正疑惑が報告されたことを受け、ウガンダ政府は捜査を開始したと述べた。また、ウガンダ政府はUNHCRの生体認証登録システムの導入を決定し、ウガンダ国内に居住する全難民を対象とした新システムへの登録が行われることとなった。(6日付ニュー・ビジョン紙)

【外政】

- オケロ外務担当国務大臣は、米国の南スーダンに対する武器禁輸措置に対し、「米国の動きは時を得ていない。政府が武器を入手することを禁止することは、自分たちの領土を守ることができなくなることを含め多くのことを危うくする」とコメントした。(4日付サンデー・モニター紙)
- UNHCRによると、1月1日からだけで24,714名のコンゴ(民)難民がウガンダに入国した。客年、48,242名のコンゴ(民)難民がウガンダに越境した。UNHCR及び国際赤十字・赤新月社連盟のレポートによると、ウガンダにおけるコンゴ(民)難民の総数は242,406名に上る。(13日付ニュー・ビジョン紙)
- 21日、ムセベニ大統領は東アフリカ共同体(EAC)首脳会議出席のためにウガンダを訪問中のマグフリ・タンザニア大統領と会談を行った。ムセベニ大統領はマグフリ大統領に対し、

タンザニア企業がウガンダ産砂糖を購入することを奨励するよう呼びかけた。マグフリ大統領は、ムセベニ大統領の提案を歓迎した。(22日付ニュー・ビジョン紙)

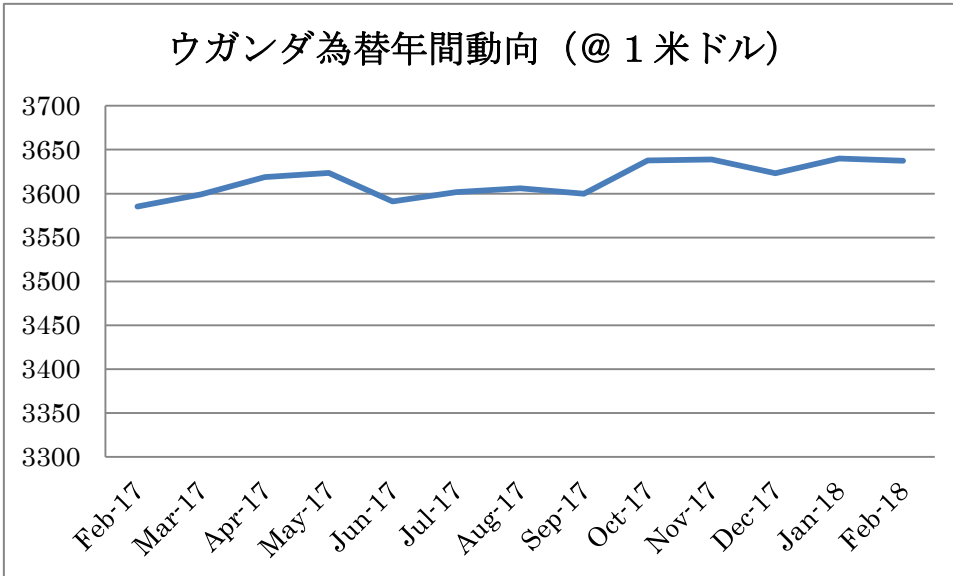
- 22日、当地において第4回東アフリカ共同体(EAC)インフラ・保健首脳リトリートが開催された。23日の第19回EAC首脳定例会議では、EACの政治的連合についての憲法作成プロセスの進展に関する閣僚評議会の報告を受け取った。「ム」大統領は、「22日に開催された第4回EACインフラ・保健首脳リトリートは素晴らしい成果をもたらした。また、EAC関係者が政治的連合(Political confederation)に向けて動き出したことを歓迎する。」と述べた。(25日付サンデー・ビジョン紙)

【経済】

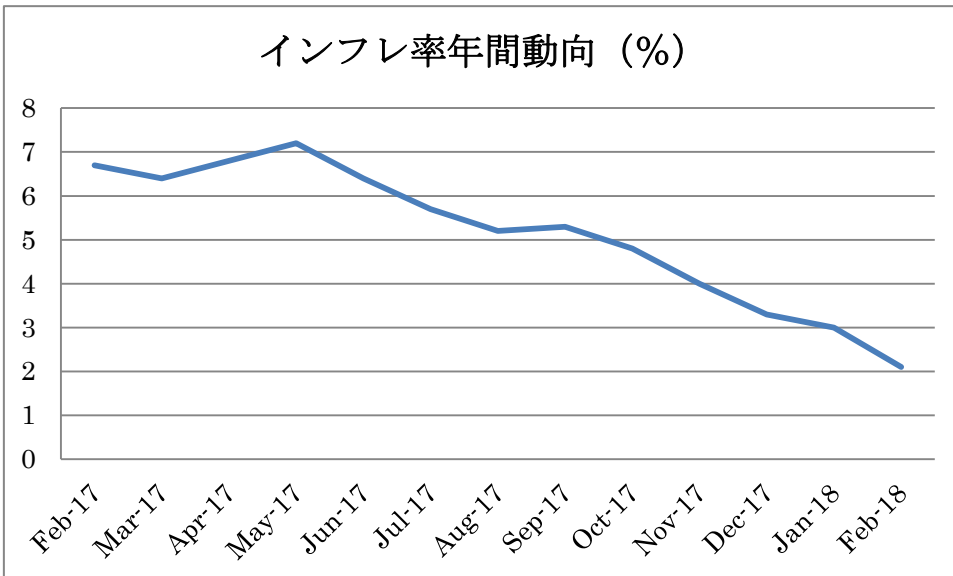
- ウガンダ政府は、7日の閣議において、40億米ドルに及ぶグリーンフィールド石油精製所の資金調達及び建設許可を、アメリカの複合企業であるGE(General Electric)を中心とするコンソーシアムに与えることを承認した。ムセベニ大統領は「アメリカから評判のよい企業がこの分野に参入することは望ましい」と述べた由。(9日付デイリー・モニター紙)
- 13日の貿易産業委員会に出席したチャンバッデ大臣は、ウガンダ国家標準化機構に対し株式会社日本輸出自動車検査センター(JEVIC)との契約を更新しないよう指示した。(14日付ニュー・ビジョン紙)
- 13日、ムセベニ大統領がウガンダ中部のナカセケ県にある中国の投資による Liao Shen 工業団地を視察した。同工業団地は、広さ2.5平方マイル、現時点で操業している工場は4つ。同工業団地に投資を行っている中国 Zhang グループの Zhang Hao 会長は、同団地に2025年までに少なくとも80社、最大で1万6千人の雇用を創出する見込みであると述べた。(15日付ニュー・ビジョン紙)
- ウガンダ政府は、中国のテクノロジー企業・新ラン集団(Xinlan Group)がウガンダにおいて初の低価格スマートフォン工場を設立することを明らかにした。このベンチャーによって、ウガンダ政府は、5,000名の雇用が生まれ、電子サービスへのアクセスが促進されると期待している。(16日付デイリー・モニター紙)
- 2月13日、ウガンダ中央銀行は、民間セクターにおける貸出しの加速並びに経済活動を推進するため、政策金利を現行の9.5%から今後3か月間9%に切り下げると発表した。(週刊誌「ザ・インディペンデント」(2月16-22日号))
- 24日、ムセベニ大統領及びケニヤッタ・ケニア大統領は、ウガンダ・ケニア国境の街ブシアにおけるワン・ストップ・ボーダー・ポスト(OSBP)の開所式典を執り行った。「ム」大統領は、「アフリカ市民は団結しなければならない」と述べ、「ケ」大統領は、先進経済と肩を並べるためには協力するしかないと述べた。(2月26日付ニュー・ビジョン紙及びデイリー・モニター紙)

(別紙)2018年2月主要経済指標(ウガンダ中央銀行, 2月28日付)

・ウガンダ・シリング為替相場@1米ドル:3637.56シリング(前月3640.05シリング)



・インフレ率(前期比年率):2.1%(前月3.0%)



・政策金利:9.0%(前月:9.5%)

